

特集

エレクトーンの

靴

HOW TO FIND YOUR BEST SHOES

練習時とコンサート、
どんな靴を履いていますか？

エレクトーンは3段鍵盤の楽器。両手はもとより、両足を使ってペダル鍵盤（ベース）を演奏し、エクスプレッションペダルでアーティキュレーションを表現し、さらにレジストレーションを切り替えたりグライドをかけたりするフットスイッチや、セカンドエクスプレッションペダルでのバンドも！まさにエレクトーンプレイヤーは足をフル稼働して演奏しています。そこで、どんな靴を履けば演奏しやすいのだろう、という問題に誰でも一度はぶつかるのではないのでしょうか？

今月は読者からの問い合わせも多い、「靴」を特集していきます。

まず今回、編集部ではプレイヤー、アレンジャー、講師の方たちにアンケートを実施しました。回答ではひとそれぞれ。裸足や靴下で弾くのが一番好き、という方がいれば、靴を履かないとどうもという方、お気に入りの靴に決めている方、そのときどきでなんでもOK！という方も。基本的に「エレクトーンの靴はこうでなければいけない」という結果にはなりません。

そんななかで、ダンスシューズを愛用しているプレイヤーさんの回答が目を引きました。「ダンスとエレクトーン？」その意外な共通点も発見することに！

そのダンスシューズのメーカー「チャコット」の取材でわかったこと、そして、アンケートの結果を中心に、靴選びに役立つ情報をお届けしていきます。

もしかしたら、靴を変えることで、ベース演奏もぐんと上達するかもしれませんよ！

エレクトーンと
ダンスは
似たもの
同士？

アンケートで、愛用の靴をうかがったところ、ダンス専門店のチャコットのシューズを使っているという答えが岩内佐織さん、廣田奈緒子さん、安藤禎央さん、倉沢大樹さんから寄せられました。ダンスとエレクトーン、フィールドは違いますが、どうも足づかいにおいては共通点があるようです。そこで、岩内佐織さんに同行していただき、チャコットに取材に行ってきました！さて、その意外な共通点とは？

岩内佐織

いわうちさおり ● エレクトーンプレイヤー。アメリカ国連総会議場でロストロポーヴィッチ指揮のワシントンナショナル交響楽団と自作曲を共演するなど、国内でも全国各地のオーケストラと共演、高い評価を得る。1989年、インターナショナル・エレクトーンフェスティバル（香港）でグランプリを獲得。その後、コンサートや式典音楽制作、CDリリース等幅広く活躍中。